

《評価基準》 A:目標を達成することができた(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること(指針③)	①地域内経済動向調査の実施	2	4	15事業所に対し4回の調査を実施。結果をHPに掲載。	A
	②各種資料を活用した経済動向調査	2	0	未実施。	D
	③金融機関との情報交換会の開催	2	0	情報交換会は未実施。個社の金融情報を共有。	D
2. 経営状況の分析に関すること(指針①)	①基礎的経営データの収集と簡易分析	50	52	基礎データ収集と簡易分析を実施。活用には至らず。	B
	②SWOT分析等詳細な経営分析	20	2	更に詳しいSWOT分析までに至らず。	D
	③専門家派遣による分析支援	5	4	専門家派遣による専門的な指導を実施。	B
3. 事業計画策定支援に関すること(指針②)	①事業計画策定セミナーの開催	1	1	セミナーを1回実施。受講者は目標20人に対し4人。	C
	②事業計画策定支援	13	8	計画策定2社。持続化補助金で6社の計画策定を支援。	C
	③事業承継セミナーの開催	1	1	セミナーを1回実施。受講者は目標10人に対し3人。	C
	④事業承継計画策定支援	2	1	セミナー受講者で1社が当会の支援で計画を策定。	C
	⑤創業塾の開催	5	5	塾を5回シリーズで開催。受講者は目標6人に対し7人。	A
	⑥創業計画策定支援	2	2	セミナー受講者から1人、その他1人創業に向け支援中。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること(指針②)	①事業計画策定後の定期的なフォローアップ	52	24	持続化6社、新事業1社、経営改善1社を随時フォロー。	A
	②事業承継計画策定後のフォローアップ	8	4	計画策定1社を4回に亘りフォロー。	C
	③創業計画策定後のフォローアップ	12	0	未実施。	D
5. 需要動向調査に関すること(指針③)	①新商品アンケート調査及びテストマーケティング	3	0	未実施。	D
	②飲食店における需要動向調査	5	0	未実施。	D
	③首都圏バイヤーに対する需要動向調査	2	0	未実施。	D
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること(指針④)	①商談会への参加による需要動向調査	3	0	未実施。	D
	②ECサイトを活用した販路開拓・拡大の支援	3	1	商工会HPの情報内容を更新。	C
	③町内飲食店・小売店のIT活用による需要開拓	1	1	IT活用講習会を実施。受講者は目標10人に対し5人。	C

II 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること(指針③)	①地域経済活性化のための検討委員会の設置	2	4	金ヶ崎町観光審議会にて4回実施。	A
	②「金ヶ崎オーワングランプリ」の継続と需要拡大	10	8	町内出店8社。集客数目標8千人に対し9千人。	B
	③観光資源の掘り起こしと観光ルートの開発	2	4	温泉協議会で検討。伝承群⇄温泉コースを策定。	A

III 経営発達支援事業の円滑な実施支援に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	①地元金融機関との連携	2	0	未実施。	D
	②近隣地域の商工団体との情報交換	2	2	経営改善貸付連絡会議(2回)で情報交換を実施。	B
2. 経営指導員の資質向上等に関すること	①研修会参加による資質向上	5	4	計画的に参加。中小機構の研修のみ参加出来ず。	B
	②OJTによる取組			適宜、実施。	B
	③職員全員による支援ノウハウの共有			適宜、実施。	B
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①評価委員会の設置による事業の評価検証	1	1	委員会は2回開催、うち評価会議は、1回。	A
	②総務委員会、理事会での進捗状況の確認と検証	4	4	総務委員会2回、理事会2回で確認と検証を実施。	A
	③職員会議による進捗状況の確認と検証	12	12	実行会議(職員で構成)で12回で確認と検証を実施。	A